

# 平成30年度 百合丘高等学校 年間指導計画

教科・科目	体育・スポーツ I	学年	第2学年	教科書	なし
		単位数	2単位	副教材	なし

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え工夫する力を身につける。</li> <li>各種の運動技能や体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付け、運動の技能や体力を向上させる。</li> <li>現代社会におけるスポーツの意義や必要性を理解し、豊かなスポーツライフを実現するための知識や方法を身につける。</li> <li>将来的に自分で運動やスポーツを生活の中で、楽しみ続けていく意欲や能力を高める。</li> <li>運動やスポーツの特性に触れる楽しさを味わうとともに、自己理解を深めて、自ら選び、自ら学ぶことのすばらしさと厳しさを十分に体験する。</li> </ul>
------	---

学習方法	○種目に応じて体育館やグラウンドで行います。
------	------------------------

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
	a	関心・意欲・態度	主体的に運動に取り組んでいる。相手を尊重し、役割を積極的に引き受け仲間と協力して活動できている。
	b	思考・判断	自己の課題に応じた運動の取り組み方を考え、計画をし、実践できる。
	c	運動の技能	各運動について技能の特性を捉え実践できている。
	d	知識・理解	体力の高め方や、各運動技術の名称や行い方、試合運営や、運動方法の仕方を理解している。

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	個人種目	28	個人種目	体力づくり	○	○	○	○	a: 自分や仲間の体や心の状態に気付き体の調子をを整え仲間と交流することを大切に体を動かす楽しさや心地よさを味わおうとする。 b: 自分の体力水準や健康状態に適した運動を選び、構成している。 c: 各種の運動に関する体力及び健康に関連する体力の向上に必要な運動を身につけたり、合理的に体力を高めたりすることができる。 d: 体ほぐしの運動、体力を高める運動の意義について、伝えたり、まとめることができる。	・授業への参加方法 ・スキルテストの結果と観察
				陸上競技(短距離走、跳躍)						
				水泳						
後期	個人種目	30	個人種目	ダンス	○	○	○	○	a: 自分や仲間の体や心の状態に気付き体の調子をを整え仲間と交流することを大切に体を動かす楽しさや心地よさを味わおうとする。 b: 自分の体力水準や健康状態に適した運動を選び、構成している。 c: 各種の運動に関する体力及び健康に関連する体力の向上に必要な運動を身につけたり、合理的に体力を高めたりすることができる。 d: 体ほぐしの運動、体力を高める運動の意義について、伝えたり、まとめることができる。	・授業への参加方法 ・スキルテストの結果と観察
				体づくり						
				器械運動						
				陸上競技(長距離走)						
	団体種目	6	ニュースポーツ	ディスクゴルフ	○	○	○	○	a: 自分や仲間の体や心の状態に気付き体の調子をを整え仲間と交流することを大切に体を動かす楽しさや心地よさを味わおうとする。 b: 自分の体力水準や健康状態に適した運動を選び、構成している。 c: 各種の運動に関する体力及び健康に関連する体力の向上に必要な運動を身につけたり、合理的に体力を高めたりすることができる。 d: 体ほぐしの運動、体力を高める運動の意義について、伝えたり、まとめることができる。	・授業への参加方法 ・スキルテストの結果と観察
				インディアカ						
				ソフトバレーボール						
合計時数(55分授業)		64								